

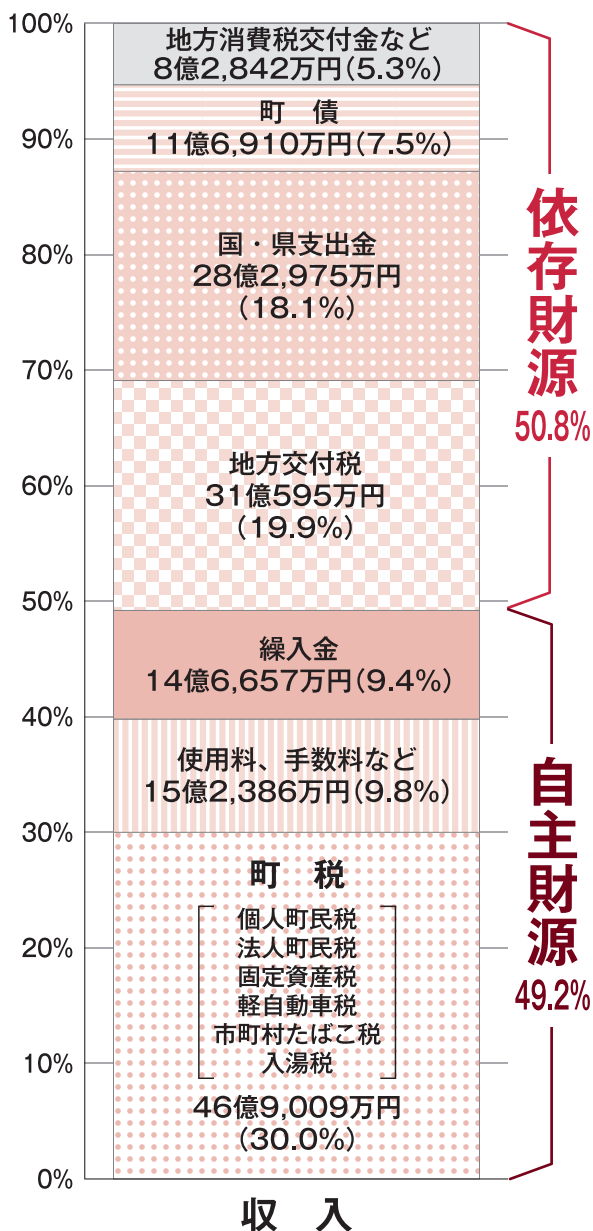
お知らせします。これがまちの

平成27年度

# 決算・ 財政状況 です

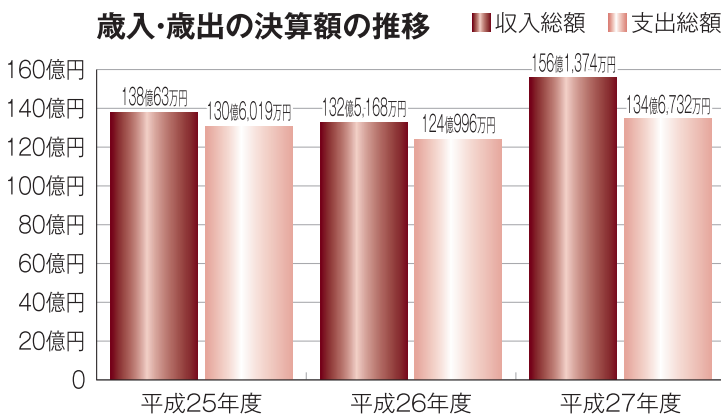
平成27年度の決算が、9月議会で認定されました。今月号では決算のあらましや財政状況をお知らせします。みなさんが納めた税金や国から交付される地方交付税、国・県の補助金などの収入状況と、福祉・教育・道路整備など、町の各種事業の支出がどのような状況だったのか、ご覧ください。

総額156億1,374万円



※自主財源とは町が自主的に調達できる財源のことです。自主財源の割合が高ければ高いほど、国や県に依存せず、より自主的で安定した財政運営が出来ます。

歳入・歳出の決算額の推移



## 収入

平成27年度の一般会計決算は、「収入」156億1,374万円、「支出」134億6,732万円となり、平成28年度の事業へ繰り越すべき財源を差し引いた4億9,286万円が剰余金(実質収支額)となりました。この剰余金のうち地方自治法の規定で、3億5,000万円を基金(町の貯金)に積み立て、残りの1億4,286万円を平成28年度に繰り越しました。

収入は、前年度に比べ23億6,206万円の増額となりました。主な内容として、震災からの復興事業の進捗により、震災復興特別交付税(東日本大震災による被災団体に対して交付される地方交付税)が12億2,442万円の増、震災復興交付金基金(これまでに国から交付されたお金を貯金していたもの)からの繰入金が増え、6億5,639万円の増と、前年度から大幅に増加したことが収入全体の増額の大きな要因となりました。また、大規模商業施設整備に伴う、交通渋滞対策のための道路整備事業や利府三小児童クラブ整備事業、地域総合整備資金貸付などに係る地方債や、消費税引上げの影響により地方消費税交付金が増額となりました。みなさんに納めていただいた各種町税は、納税者の増加により、上記グラフのとおり、46億9,009万円(前年度から633万円増)となり、収入の30%を占めました。